



学校だより

令和6年5月1日

江戸川区立清新第一小学校

江戸川区清新町1-4-19

校長 石橋 悟

NO.2

「体をきたえる子」・「思いやりのある子」・「最後までやり抜く子」・「進んで学習する子」

今まで積み重ねてきたものを次の世代につなぐ

～開校41周年4月 良いスタートができました～

～5月もこの雰囲気継続し、大きな2つの目標に取り組んでいきます～

校長 石橋 悟

今年度は開校40周年の次の年であり、希望の未来へつないでいく大事な年であることを、昨年度末から言い続けてきました。子供たちはそれを自覚していることが、4月の学校生活で表れていました。それぞれの学年が1つ上の学年に上がったという自覚と、4つの学年が新しいクラスで新しい学年を迎えているという新鮮な気持ち、17名の転任の先生との新たな出会いが、前向きで落ち着いた学校生活に繋がっています。この雰囲気を5月からの学校生活にも継続させ、今年度の大きな2つの目標に取り組んでいきます。一つ目は、平日頃から子供たちには「学校生活で一番大事なことは授業である」ということを朝会場で話しています。今年度は先生方にも「教師は授業で勝負」という高い意識をもって授業に臨んでもらうことをお願いしています。教師と子供たちが高い意識を共有した中で、おもしろい授業、楽しい授業、充実した授業を1年間、すべてのクラスで実践することを目指します。二つ目は、3学期の朝会場でよく話をしていたあいさつです。始業式で6年生の代表児童が言ってくれた、「コロナ禍前のような、明るく笑顔でみんながあいさつできる学校を取り戻したい」このことを学校全体で取り組んで実現させていきます。

◎5年ぶりに6年生が参列した入学式

今年度はコロナ禍も終わり、1年生の児童数も106名だったので、5年ぶりに6年生が参列できることになりました。前の週の金曜日に登校し、教室整備や入学式準備後の30分の練習で本番に臨みました。僅かな練習時間であっても、最高学年としての意識をもった態度、校歌等の歌声、代表児童の立派な態度が心地よい緊張感を会場全体に漂わせてくれました。その雰囲気が伝わったのか、1年生も立派な態度で入学式を無事終えることができました。

◎入学式から1か月・・・1年生は今

入学してから3週間がたちました。この3週間の中で、初めての小学校生活の経験をしながら、毎日少しずつ成長しているのが分かります。この時期は、担任の先生だけでなく、今年度から始まった学年アシスタントの先生、専科の先生、ことばの教室の先生、6年生の児童がお手伝いをしてくれます。多くの人に見守られながら、日々成長していく1年生を見るのは本当に嬉しく思います。5月は運動会の練習が始まり、さらに成長した姿を学校公開や運動会で見せてくれることでしょう。

◎多くの職員の方からの清新一小へのエール・・・令和6年度離任式

4月26日離任式が行われました。今年度は多くの職員の方が異動退職されました。この日を楽しみにしていた子供たちも多く、異動された先生方との1ヶ月ぶりの対面に、子供たちは真剣に先生方の話を聴き、元気に挨拶を繰り返していました。それぞれの職員の方から一小の子供たちに対するエールが送られ、最後は、力強い2年生～6年生の校歌の歌声が体育館に響き渡りました。明るく、心温まる離任式を終え、新たな気持ちで頑張ってくれると思います。

